

# 日誌

日誌 02月17日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	自己紹介
		薬の場所把握
	10:00	服薬指導
		調剤・監査
	11:00	調剤・監査
		薬を調べる
	12:00	昼休み
		昼休み
	13:00	服薬指導
		薬を調べる
	14:00	服薬指導
		調剤・監査
	15:00	服薬指導
		調剤監査
16:00	見学	
	症例検討	
17:00	1日の振り返り	
	1日の振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (1)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(2)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 02月17日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>&lt;実習目標&gt; 患者さんとコミュニケーションを円滑に進める</p> <p>&lt;実習内容&gt; 服薬指導・調剤・薬の調べ学習</p> <p>&lt;実施した内容・調べたこと&gt; お腹の調子が悪い患者さんや、心房細動、高血圧の患者さんに服薬指導を行った。 高血圧の患者さんは冬になると血圧が上がりやすくなり、薬剤の増量があること。 リクシアナOD錠には心房細動における虚血性脳卒中の適応と深部静脈血栓症および肺血栓塞栓症の適応があることが分かった。</p> <p>&lt;考察・感想&gt; 服薬指導の際は、薬情に頼りすぎず、患者さんの症状に合った説明、アドヒアランス向上のための理解しやすい説明が必要だと思った。そのためにも薬の知識を見直し、疾患との関係や同種同効薬の中で特徴の違いを改めて覚えていきたいと感じた。 ARBの中でもテルミサルタンは腎機能低下患者にも使用ができるなど。 また、薬物動態によって食事の有無に対する服薬指導の方法が変わるため、もう一度学習する必要があると感じた。 また、服薬指導は患者さんによって説明を詳しくしてほしい方と、そうではない方がいると思うので、今後は患者さんに聞いてから服薬指導を進めていこうと思った。</p>
----------	--

# 日誌

日誌 02月17日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	○
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月17日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	錠剤の数え間違いが一度あったので、明日からはミスがないように確実にチェックする。 処方薬から症状を推測することが一部の患者さんで難しかったので、今日出てきた薬はその日のうちに頭に入れることを目標にする。 今日は服薬指導の際に質問せずに終わったが、高血圧の患者さんは低血圧状態になると危ないので、薬のアドヒアランスをしっかりと確認しようと思った。
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>初日から3件！ さすがです！ちょっと予想の上行っているのでこれからが楽しみです。</p> <p>特に、田中さんは自分で振り返る力もきちんと備わっているので、服薬指導がいわゆる『無駄食い』にならないと思いますので、ぜひいろいろな患者さんに触れてみてください。</p> <p>そして、患者さんたちが何か少しでも問題解決につながって笑って帰ってくれるように頑張りましょうね！（初日のフィードバックとは思えない内容(笑)）</p> <p>あと真似るのが得意とのことなのでそれもすごく良いですね。とはいえ、私の服薬指導があまり参考にならない可能性があるので申し訳ないですが遠慮なくパクってください！</p> <p>&gt;高血圧の患者さんは低血糖状態 低血圧かな？</p> <p>智弘</p> <p>登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 02月18日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	一包化
		軟膏充填
	10:00	一包化
		調剤
	11:00	一包化
		調剤
	12:00	薬を調べる
		休憩
	13:00	休憩
		薬を調べる
	14:00	服薬指導
		フィードバック
	15:00	薬歴記載
		soap記載
16:00	薬を調べる	
	フィードバック	
17:00	振り返り	
	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 02月18日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

## 具体的な実習内容

### <実習目標>

患者さんとコミュニケーションを円滑に進める

### <実習内容>

一包化・服薬指導・調剤・薬の調べ学習

### <実施した内容・調べたこと>

脳梗塞の既往歴がある、骨粗しょう症/認知症/便秘の患者さんに服薬指導を行った。

軟膏の充填。

一包化の機械の作り方。

### <考察・感想>

一包化の機械はバーコードスキャンで入れる薬を確認するが、一度入れると中身は分からないため、二重チェックが大切だと感じた。

また、一包化によって患者さんの気持ち的にも飲みやすくなるんだなと実際に現場に出てみて感じた。

服薬指導では、脳梗塞の既往歴、骨粗しょう症/認知症/便秘を併せ持つ患者さんの対応を行った。今回処方された薬だけではなく、他の日に処方された薬の効果やアドヒアランスについても確認することが大切だと感じた。

それぞれの用法用量がその患者さんに適しているのか、体格を確認したり、普段の生活について聞いたり、患者さんをよく知ることが大事だと感じた。

メマンチンは認知症の興奮症状によく効くこと、ドネペジルは活動を活発化させることがあると分かった。

# 日誌

日誌 02月18日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月18日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	今回処方された薬だけではなく、他の日に処方された薬の効果やアドヒアランスについても確認すること。 容量が患者さんに合っているか確認すること
添付資料	
薬剤師のコメント	まだ2日目ですが色々濃い内容だったのではないのでしょうか？  そういえば、服薬指導開始直後に『お会計は？』って経験しましたね。ちょっと躊躇しますよね。笑 でも、その後はしっかりお話伺うことができていて、、、患者さんのどんな心理が働いていたと思いますか？  時間ある時にディスカッションしてみましょう。  智弘  登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 02月19日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	一包化
		一包化
	10:00	調剤
		調剤
	11:00	調剤
		服薬指導
	12:00	フィードバック
		薬歴記録
	13:00	在宅医療
		在宅医療
	14:00	服薬指導
		薬歴記録
	15:00	服薬指導
		薬歴記録
16:00	服薬指導	
	振り返り	
17:00	振り返り	
	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)、患者宅	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	

# 日誌

日誌 02月19日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>&lt;実習目標&gt; 症状による薬の使い方の違いを学ぶ</p> <p>&lt;実習内容&gt; 服薬指導・調剤・薬の調べ学習</p> <p>&lt;実施した内容・調べたこと&gt; 在宅医療 吸入器の服薬指導 睡眠薬の服薬指導 ドンペリドンの処方意図 メトホルミンのがん抑制作用</p> <p>&lt;考察・感想&gt; 在宅医療では、血液癌の患者さんの家を訪問した。訪問した際に臀部の痛みを訴えていた。 痛みがある場合は、患部を触って状態を確認すると良いことが分かった。また、週一回飲むべきビスホスホネート製剤の飲み忘れがあるので服薬タイミングを考える。そして、在宅の患者さんでは排便/夜寝れているかの確認が大切だと感じた。 吸入器の服薬指導では継続処方でも吸い方の確認や、吸い忘れ/うがい/口の中の違和感の確認をした方が良いと感じた。 また、睡眠薬の服薬指導の際は、半錠で飲んでいる患者さんもいるようなので、確認をとるようにしたい。</p>
----------	---

# 日誌

日誌 02月19日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	○
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	○
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	○
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
5	【④災害時医療と薬剤師】		
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月19日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	症状に合わせた薬の使い方がそれぞれあるので、そこをもっと意識して服薬指導を行いたい また、薬に絡めた患者インタビューをできるようにしたい
添付資料	
薬剤師のコメント	OSCEや事前実習の時と異なり、患者インタビューから服薬指導までまとめて行うことになるので、明確に患者情報収集と狭義での服薬指導が分かれていないことを説明しました。 慣れるまでちょっと時間がかかるかもしれませんが、田中さんならきっと大丈夫だと思います。患者さんの胸を借りて頑張りましょう！  登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 02月20日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	調剤
	10:00	服薬指導
	11:00	調べもの
	12:00	休憩
	13:00	服薬指導
	14:00	薬歴記録
	15:00	調べもの
	16:00	疑義紹介
17:00	振り返り	
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(1)名、その他(1)名	

# 日誌

日誌 02月20日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>&lt;目標&gt; 薬の情報をスラスラいえるようにになりたい</p> <p>&lt;実施した内容 ・調べたこと&gt; 疑義紹介 服薬指導 点鼻薬調整 GLP作動薬とDPP 4 阻害薬の併用は行わないこと 目薬を挿す順番、相互作用 スタチン系薬剤の副作用</p> <p>&lt;考察・感想&gt; 今日は、前回の処方の際に、医師に臍臓にぶつぶつがあると言われて不安になった患者さんの服薬指導を行った。 まだどんな病気か確実には分からないが、不安にさせたくなかったので、その話題に触れようか考えて言葉が詰まってしまった。 いきなり、不安だったことを思い出させても申し訳ないので、今日はこれで良かったのかなと後から思った。 これからは、重い病気の可能性がある場合は、不安なことがありますかと聞いて患者さんが話してくれたら、聞こうと思う また、患者さんの生活をイメージして、共感の気持ちと提案を伝えられるようにしたい。 また、服薬アドヒアランスが悪い患者さんでは、同種同効薬で服薬回数の少ない薬にすることや、家族と同じ服薬タイミングにすることが考えられた。</p>
----------	---

# 日誌

日誌 02月20日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	○
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	○
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月20日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	共感の気持ちと提案 相手の生活状況を考える
添付資料	
薬剤師のコメント	共感って難しそうでそんなに難しくないと言う話をしました。 一方で、どれだけ患者さんの目線に立てるかで質が変わってきます。  通常は実習中盤戦位に話をする内容ですが、田中さんの場合はちょうど良いタイミングな気がするので、、、 これにまつわる話であまり大学では学びにくい服薬指導のポイントがあります。 時間があるときに私とロールプレイをしてみませんか？  登録者：小川 智弘
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 02月21日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席	
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	薬歴確認
	10:00	調剤
	11:00	錠剤の粉砕
	12:00	休憩
	13:00	散剤
	14:00	一包化
	15:00	秤量
16:00	一包化	
17:00	振り返り	
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(2)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 02月21日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p>&lt;目標&gt; 薬の情報をスラスラいえるようになりたい</p> <p>&lt;実施した内容・調べたこと&gt; 小児在宅の一包化 錠剤の粉碎 トレーシングレポートの流れを知る 免疫関連副作用 認知症の周辺症状</p> <p>&lt;考察・感想&gt; 今日の小児在宅の患者さんは、ファモチジン・マグミット・グリセリン浣腸剤の処方があったので、消化管の運動障害やリン剤・鉄剤の服用から慢性腎疾患などを持つのかなと考えた。 また、散剤の剤形がない薬は、必要な量と錠剤の主薬量を考え、錠剤の粉碎を分配する必要のない、きりの良い日数の量を決めると良いことが分かった。錠剤を粉碎したあとに、賦形剤ではない主薬は大切なので量り取って記録することが大切だと思った。 また、トレーシングレポートでは患者さんの薬に対する不満などを聞き取って、代替案を考えられるようにしていきたい。</p>
----------	---

# 日誌

日誌 02月21日                      慶應義塾大学      学籍番号( 52152011                      )      氏名( 田中 靖子                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	○
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	○
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	○
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	○
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月21日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	主薬量としての計算
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>この日は予告通り1人の患者さんの調剤でしたね。大変だったと思います。お疲れ様でした。</p> <p>実はこの患者さんの調剤はあえてのほほんとした感じでやりましたが、小児在宅の調剤のレベルによっては全く話してられないほど集中を要するものもあります。</p> <p>そのあたりのリスクの違いも考えられると良いかもしれませんね。</p> <p>小川 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

# 日誌

日誌 02月22日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 02月22日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	

# 日誌

日誌 02月22日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月22日                      慶應義塾大学    学籍番号( 52152011                      )    氏名( 田中 靖子                      )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	



# 日誌

日誌 02月23日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況		
欠席、遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00	
	9:00	
	10:00	
	11:00	
	12:00	
	13:00	
	14:00	
	15:00	
	16:00	
17:00		
場所		
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患 (0)名、免疫・アレルギー疾患 (0)名、感染症(0)名、その他(0)名	

# 日誌

日誌 02月23日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	
----------	--

# 日誌

日誌 02月23日

慶應義塾大学

学籍番号( 52152011 )

氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
	薬学臨床の基礎		
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
	処方せんに基づく調剤		
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	薬物療法の実践		
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
	チーム医療への参画		
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	地域の保健・医療・福祉への参画		
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

# 日誌

日誌 02月23日 慶應義塾大学 学籍番号( 52152011 ) 氏名( 田中 靖子 )

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	